

**飯島喜美** 共産党員になり、日本の婦人労働者初で、かつ最年少のプロフィンテルン代表、活動中検挙され獄死。

いいじまきみ

大逆事件判決1911 = 千葉県匝瑳郡太田村(旭市)で、提灯職人の長女に生まれる。キミとも書く。

明治天皇没・1912 = 1歳 :

弟妹続々誕生し、13人兄弟となる。

大暴落・・・1920 = **9歳** :

原敬首相暗殺1921 = 10歳 :

治安維持法・1925 = 14歳 : 小学校卒業後、すぐ女中奉公に出、

金融恐慌・・・1927 = 16歳 : \*東京モスリン亀戸工場に入った。社会科学の学習会に参加、日本労働組合総同盟内の革命的反対派に加わって活動をはじめ、

共産党事件・1928 = 17歳 : \*第2工場精紡職場500名の賃上げ要求ストライキを指導し、要求を貫徹した。

世界恐慌・・・1929 = **18歳** : \*4・16事件で検挙されるも屈せず、日本共産青年同盟に加盟し、共産党に入党、工場新聞{羊の毛}を発行。

海軍軍縮条約1930 = 19歳 : \*モスクワで開かれたプロフィンテルン第5回大会の日本代表団の1人として参加、日本の婦人労働者として初めての参加者で、最年少。大会では日本の婦人労働者の状態と闘いを報告し、

満州事変・・・1931 = 20歳 : 帰国。反戦運動広げるべく、女性労働者の組織化を進める活動に取り組み、

五一五事件・1932 = 21歳 : \*32年テーゼ作成会議にも参加。大会後、東洋勤労者共産主義大学(クートベ)に入学して学んで、

国際連盟脱退1933 = 22歳 : \*帰国後、党中央婦人委員、日本共産青年同盟の幹部として活動中、検挙され、

芥川直木賞始1935 = 24歳 : \*栃木刑務所で獄死した。

獄中に「闘争・死」と刻んだ真鍮製のコンパクトを遺品として残した。